

注3

大学番号：私091

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

大東文化大学 社会学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大東文化学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学 務 部

職名・氏名 カクムフチョウ 学務部長 ・ ミノワ ミカ 箕輪 美佳

電話番号 03-5399-7333

（夜間） 03-3935-1110

F A X 03-5399-7334

e-mail gakumu@jm.daito.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

社会学部

＜社会学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 大東文化学園

(2) 大学名

大東文化大学

(3) 大学の位置

(1・2年次) 〒355-8501
埼玉県東松山市岩殿560
(3・4年次) 〒175-8571
東京都板橋区高島平1-9-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	オオハシ ヒデイツ 大橋英五 (平成27年6月30日)		
学長	カドワキ ヒロフミ 門脇廣文 (平成29年4月1日)		
学部長	ババ ヤスオ 馬場靖雄 (平成30年4月1日)		
学科長等	ウエノ カズヨシ 植野一芳 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会学部 社会学科 学士(社会学)	社会学・社会福祉学関係	4年	200人	一年次 一人	800人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平均入学定員超過率	備考
	平成30年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	200人 200 (-) [-]	0人	1.02倍	
志願者数	2212 (0) [19]	— (-) [-]		
受験者数	2157 (0) [15]	— (-) [-]		
合格者数	440 (0) [5]	— (-) [-]		
B 入学者数	204 (0) [4]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.02			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	204 [4] 0	— [—] —	
2年次	/		
3年次	/		
4年次	/		
計	204 [4] 0		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	204 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
合 計	204 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{204} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会学部 社会学科>

(1) -① 授業科目表

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
1・基本科目 A系 人間と文化（人文系）	哲学A	1-2前・後	2		1						兼1
	哲学B	1-2前・後	2		1						兼1
	文学A	1-2前・後	2		1						兼2
	文学B	1-2前・後	2		1						兼2
	論理学A	1-2前・後	2								兼1
	論理学B	1-2前・後	2								兼1
	倫理学A	1-2前・後	2		1						兼1
	倫理学B	1-2前・後	2		1						兼1
	宗教学A	1-2前・後	2								兼1
	宗教学B	1-2前・後	2								兼1
	歴史学A	1-2前・後	2								兼4
	歴史学B	1-2前・後	2								兼4
	考古学A	1-2前・後	2								兼1
	考古学B	1-2前・後	2								兼1
	文化史A	1-2前・後	2								兼1
	文化史B	1-2前・後	2								兼1
	芸術学A	1-2前・後	2			1					兼3
	芸術学B	1-2前・後	2			1					兼3
	地理学A	1-2前・後	2								兼2
	地理学B	1-2前・後	2								兼2
	言語学A	1-2前・後	2								兼2
	言語学B	1-2前・後	2								兼2
1・基本科目 B系 社会と生活（社会系）	法学A	1-2前・後	2								兼2
	法学B	1-2前・後	2								兼2
	社会学A	1-2前・後	2				1				
	社会学B	1-2前・後	2				1				
	政治学A	1-2前・後	2								兼2
	政治学B	1-2前・後	2								兼2
	経済学A	1-2前・後	2								兼1
	経済学B	1-2前・後	2								兼1
	心理学A	1-2前・後	2					1			兼2
	心理学B	1-2前・後	2					1			兼2
	教育学A	1-2前・後	2					1			兼1
	教育学B	1-2前・後	2					1			兼1
	民俗学A	1-2前・後	2								兼1
	民俗学B	1-2前・後	2								兼1
文化人類学A	1-2前・後	2			1						
文化人類学B	1-2前・後	2			1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
1・基本科目 A系 人間と文化（人文系）	哲学A	1-2前・後	2		0						兼2
	哲学B	1-2前・後	2		0						兼2
	文学A	1-2前・後	2		0						兼2
	文学B	1-2前・後	2		0						兼2
	論理学A	1-2前・後	2								兼1
	論理学B	1-2前・後	2								兼1
	倫理学A	1-2前・後	2		1						兼1
	倫理学B	1-2前・後	2		1						兼1
	宗教学A	1-2前・後	2								兼1
	宗教学B	1-2前・後	2								兼1
	歴史学A	1-2前・後	2								兼4
	歴史学B	1-2前・後	2								兼4
	考古学A	1-2前・後	2								兼1
	考古学B	1-2前・後	2								兼1
	文化史A	1-2前・後	2								兼1
	文化史B	1-2前・後	2								兼1
	芸術学A	1-2前・後	2			0					兼3
	芸術学B	1-2前・後	2			0					兼3
	地理学A	1-2前・後	2								兼2
	地理学B	1-2前・後	2								兼2
	言語学A	1-2前・後	2								兼2
	言語学B	1-2前・後	2								兼2
1・基本科目 B系 社会と生活（社会系）	法学A	1-2前・後	2								兼2
	法学B	1-2前・後	2								兼2
	社会学A	1-2前・後	2					1			
	社会学B	1-2前・後	2					1			
	政治学A	1-2前・後	2								兼2
	政治学B	1-2前・後	2								兼2
	経済学A	1-2前・後	2								兼1
	経済学B	1-2前・後	2								兼1
	心理学A	1-2前・後	2						1		兼2
	心理学B	1-2前・後	2						1		兼2
	教育学A	1-2前・後	2						1		兼1
	教育学B	1-2前・後	2						1		兼1
	民俗学A	1-2前・後	2								兼1
	民俗学B	1-2前・後	2								兼1
文化人類学A	1-2前・後	2			1						
文化人類学B	1-2前・後	2			1						

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
1・基本科目	C系 自然と環境（自然系）	数学A	1・2前・後	2							兼1
		数学B	1・2前・後	2							兼1
		地学A	1・2前・後	2							兼1
		地学B	1・2前・後	2							兼1
		生物学A	1・2前・後	2							兼2
		生物学B	1・2前・後	2							兼2
		生態学A	1・2前・後	2							兼1
		生態学B	1・2前・後	2							兼1
		現代科学A	1・2前・後	2							兼3
		現代科学B	1・2前・後	2							兼3
		情報科学A	1・2前・後	2							兼2
		情報科学B	1・2前・後	2							兼2
	自然科学A	1・2前・後	2							兼1	
	自然科学B	1・2前・後	2							兼1	
	D系 （保健とスポーツ）	総合体育A	1・2前	1							兼5
		総合体育B	1・2後	1							兼5
		健康スポーツ科学A	1・2前・後	2							兼4
		健康スポーツ科学B	1・2前・後	2							兼4
		体育実技A	2前	1							兼3
体育実技B		2後	1							兼3	
野外実習A 野外実習B		1・2前・後 1・2前・後	1 1							兼1 兼1	
2・課題（テーマ）科目	第1群	地域・国家・民族の考察A	1・2前・後	2							兼2
		地域・国家・民族の考察B	1・2前・後	2							兼2
	第2群	女性・子ども・老人への視点A	1・2前・後	2							兼2
		女性・子ども・老人への視点B	1・2前・後	2							兼2
	第3群	人権・民主主義・平和を考えるA	1・2前・後	2							兼1
		人権・民主主義・平和を考えるB	1・2前・後	2							兼1
	第4群	現代社会の諸問題A	1・2前・後	2							兼2
		現代社会の諸問題B	1・2前・後	2							兼2
	第5群	異文化・世界にふれるA	1・2前・後	2		2					兼3
		異文化・世界にふれるB	1・2前・後	2		2					兼3
	第6群	自己・人間をみつめるA	1・2前・後	2		1					兼3
		自己・人間をみつめるB	1・2前・後	2		1					兼3
第7群	キャリアデザインA	1・2前・後	2							兼2	
	キャリアデザインB	1・2前・後	2							兼2	
第8群	全学共通特殊講義A	1・2前・後	2							兼2	
	全学共通特殊講義B	1・2前・後	2							兼2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
1・基本科目	C系 自然と環境（自然系）	数学A	1・2前・後	2							兼1
		数学B	1・2前・後	2							兼1
		地学A	1・2前・後	2							兼1
		地学B	1・2前・後	2							兼1
		生物学A	1・2前・後	2							兼2
		生物学B	1・2前・後	2							兼2
		生態学A	1・2前・後	2							兼1
		生態学B	1・2前・後	2							兼1
		現代科学A	1・2前・後	2							兼3
		現代科学B	1・2前・後	2							兼3
		情報科学A	1・2前・後	2							兼2
		情報科学B	1・2前・後	2							兼2
	自然科学A	1・2前・後	2							兼1	
	自然科学B	1・2前・後	2							兼1	
	D系 （保健とスポーツ）	総合体育A	1・2前	1							兼5
		総合体育B	1・2後	1							兼5
		健康スポーツ科学A	1・2前・後	2							兼4
		健康スポーツ科学B	1・2前・後	2							兼4
		体育実技A	2前	1							兼3
体育実技B		2後	1							兼3	
野外実習A 野外実習B		1・2前・後 1・2前・後	1 1							兼1 兼1	
2・課題（テーマ）科目	第1群	地域・国家・民族の考察A	1・2前・後	2							兼2
		地域・国家・民族の考察B	1・2前・後	2							兼2
	第2群	女性・子ども・老人への視点A	1・2前・後	2							兼2
		女性・子ども・老人への視点B	1・2前・後	2							兼2
	第3群	人権・民主主義・平和を考えるA	1・2前・後	2							兼1
		人権・民主主義・平和を考えるB	1・2前・後	2							兼1
	第4群	現代社会の諸問題A	1・2前・後	2							兼2
		現代社会の諸問題B	1・2前・後	2							兼2
	第5群	異文化・世界にふれるA	1・2前・後	2			1				兼4
		異文化・世界にふれるB	1・2前・後	2			1				兼4
	第6群	自己・人間をみつめるA	1・2前・後	2			0				兼4
		自己・人間をみつめるB	1・2前・後	2			0				兼4
第7群	キャリアデザインA	1・2前・後	2							兼2	
	キャリアデザインB	1・2前・後	2							兼2	
第8群	全学共通特殊講義A	1・2前・後	2							兼2	
	全学共通特殊講義B	1・2前・後	2							兼2	

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	必修科目	フレッシュマンセミナーA	1前	2		6	3	4				兼5 兼5 兼5 兼5
		フレッシュマンセミナーB	1後	2		6	3	4				
		時事英語1	1前	1		1						
		時事英語2	1後	1		1						
		実用コミュニケーション英語1	1前	1		1						
		実用コミュニケーション英語2	1後	1		1						
	選択必修科目	時事英語3	2前		1		1					兼5 兼5 兼5 兼5
		英語で読む現代社会	2後		1		1					
		実用コミュニケーション英語3	2前		1		1					
		実用コミュニケーション英語4	2後		1		1					
		海外英語研修	2通		4		1					
		未修外国語科目 選択科目	ドイツ語初級1A	1・2前		1						
	ドイツ語初級1B		1・2後		1							
	ドイツ語初級2A		1・2前		1							
	ドイツ語初級2B		1・2後		1							
	フランス語初級1A		1・2前		1							
	フランス語初級1B		1・2後		1							
	フランス語初級2A		1・2前		1							
	フランス語初級2B		1・2後		1							
中国語初級1A	1・2前			1								
中国語初級1B	1・2後			1								
中国語初級2A	1・2前			1								
中国語初級2B	1・2後			1								
必修科目	社会学入門A	1前	2		1						兼3 兼3	
	社会学入門B	1後	2		1							
	社会学の諸相	1前	2		1	1	1					
	社会統計入門	1後	2		1							
	情報処理基礎Ⅰ	1前	2				1					
	情報処理基礎Ⅱ	1後	2				1					
	社会調査Ⅰ	1前	2			1						
	社会調査Ⅱ	1後	2			1						
	社会学演習Ⅰ	2通	4		5	5	4					
	社会学演習Ⅱ	3通	4		5	5	3					
	卒業研究	4通	4		5	5	3					
	専門教育科目	選択必修科目①	歴史社会学	1前	2		1					
家族社会学			1後	2		1						
教育社会学			1前	2				1				
格差社会論			1後	2				1				
社会学理論A			2前	2		1						
社会学理論B			2後	2		1						
社会学史			2前	2				1				
組織社会学			2後	2								
情報と統計基礎実習			2前・後	2								
量的調査法			2後	2				1				
社会調査法			2前	2								
成熟社会A			3前	2		1						
成熟社会B			3後	2		1						
社会調査実習			3通	4		1	2	1				
Introduction to Sociology(外書講読)	3前	2		1								

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	必修科目	フレッシュマンセミナーA	1前	2		5	3	4				兼5 兼5 兼6 兼6
		フレッシュマンセミナーB	1後	2		5	3	4				
		時事英語1	1前	1		1						
		時事英語2	1後	1		1						
		実用コミュニケーション英語1	1前	1		1						
		実用コミュニケーション英語2	1後	1		1						
	選択必修科目	時事英語3	2前		1		1					兼5 兼5 兼6 兼6
		英語で読む現代社会	2後		1		1					
		実用コミュニケーション英語3	2前		1		1					
		実用コミュニケーション英語4	2後		1		1					
		海外英語研修	2通		4		1					
		未修外国語科目 選択科目	ドイツ語初級1A	1・2前		1						
	ドイツ語初級1B		1・2後		1							
	ドイツ語初級2A		1・2前		1							
	ドイツ語初級2B		1・2後		1							
	フランス語初級1A		1・2前		1							
	フランス語初級1B		1・2後		1							
	フランス語初級2A		1・2前		1							
	フランス語初級2B		1・2後		1							
中国語初級1A	1・2前			1								
中国語初級1B	1・2後			1								
中国語初級2A	1・2前			1								
中国語初級2B	1・2後			1								
必修科目	社会学入門A	1前	2		1						兼3 兼3	
	社会学入門B	1後	2		1							
	社会学の諸相	1前	2		1	1	1					
	社会統計入門	1後	2		1							
	情報処理基礎Ⅰ	1前	2				1					
	情報処理基礎Ⅱ	1後	2				1					
	社会調査Ⅰ	1前	2			1						
	社会調査Ⅱ	1後	2			1						
	社会学演習Ⅰ	2通	4		5	5	4					
	社会学演習Ⅱ	3通	4		5	5	3					
	卒業研究	4通	4		5	5	3					
	専門教育科目	選択必修科目①	歴史社会学	1前	2		1					
家族社会学			1後	2		1						
教育社会学			1前	2				1				
格差社会論			1後	2				1				
社会学理論A			2前	2		1						
社会学理論B			2後	2		1						
社会学史			2前	2				1				
組織社会学			2後	2								
情報と統計基礎実習			2前・後	2								
量的調査法			2後	2				1				
社会調査法			2前	2								
成熟社会A			3前	2		1						
成熟社会B			3後	2		1						
社会調査実習			3通	4		1	2	1				
Introduction to Sociology(外書講読)	3前	2		1								

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	多文化と共生コース 必修科目	国際社会学	2前	2		1							
		多文化社会論	2後	2		1							
		ジェンダーの社会学A	2前	2		1							
		ジェンダーの社会学B	2後	2		1							
		選択必修科目	文化人類学	2前	2		1						
			文化社会学	2後	2		1						
			ケアの社会学	2前	2							兼1	
			環境社会学A	3・4前	2							兼1	
	環境社会学B		3・4後	2							兼1		
	宗教社会学		3・4前	2							兼1		
	環境政策論		3・4後	2							兼1		
	都市と地域コース 必修科目	都市社会学	2前	2			1						
		地域デザイン論	2後	2				1					
		地域社会学A	2前	2			1						
		地域社会学B	2後	2			1						
		選択必修科目	福祉医療政策	2前	2							兼1	
			ソーシャルキャピタル論	2前	2				1				
			地域福祉論	3・4前	2		1						兼1
			地方自治	3・4前	2							兼1	
			行政学	3・4後	2							兼1	
			財政学A	3・4前	2				1				
	財政学B	3・4後	2				1						
	メディアと情報コース 必修科目	情報社会論	2後	2					1				
		情報科学概論	2後	2			1						
		マスメッセージング論A	2前	2		1							
		マスメッセージング論B	2後	2		1							
		選択必修科目	情報システム	2前	2				1				
マルチメディア論			2前	2		1							
統計解析基礎			3・4前	2			1						
統計解析応用			3・4後	2			1						
メディア社会	3・4後	2					1						
ジャーナリズム論A	3・4前	2			1								
ジャーナリズム論B	3・4後	2			1								
共通関連科目 選択必修科目	心理学概論A	1・2前	2								兼1		
	心理学概論B	1・2後	2								兼1		
	スポーツ社会学	1・2前	2								兼1		
	スポーツ心理学	1・2後	2								兼1		
	ミクロ経済学A	1・2前	2								兼1		
	ミクロ経済学B	1・2後	2								兼1		
	マクロ経済学A	1・2前	2								兼1		
	マクロ経済学B	1・2後	2								兼1		
	キャリアの社会学	2後	2					1					
	経営学概論A	2前	2			1							
	経営学概論B	2後	2			1							
	コミュニケーション論	2前	2								兼1		
	社会システム論A	2前	2		1								
	社会システム論B	2後	2		1								
	社会科学の歴史A	2前	2		1								
	社会科学の歴史B	2後	2		1								
	公共政策論	3・4前	2								兼1		
	行動分析学A	3・4前	2								兼1		
	行動分析学B	3・4後	2								兼1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	多文化と共生コース 必修科目	国際社会学	2前	2		1							
		多文化社会論	2後	2		1							
		ジェンダーの社会学A	2前	2		1							
		ジェンダーの社会学B	2後	2		1							
		選択必修科目	文化人類学	2前	2		1						
			文化社会学	2後	2		1						
			ケアの社会学	2前	2								兼1
			環境社会学A	3・4前	2								兼1
	環境社会学B		3・4後	2								兼1	
	宗教社会学		3・4前	2								兼1	
	環境政策論		3・4後	2								兼1	
	都市と地域コース 必修科目	都市社会学	2前	2			1						
		地域デザイン論	2後	2				1					
		地域社会学A	2前	2			1						
		地域社会学B	2後	2			1						
		選択必修科目	福祉医療政策	2前	2								兼1
			ソーシャルキャピタル論	2前	2				1				
			地域福祉論	3・4前	2		1						兼1
			地方自治	3・4前	2								兼1
			行政学	3・4後	2								兼1
			財政学A	3・4前	2				1				
	財政学B	3・4後	2				1						
	メディアと情報コース 必修科目	情報社会論	2後	2					1				
		情報科学概論	2後	2			1						
		マスメッセージング論A	2前	2		1							
		マスメッセージング論B	2後	2		1							
		選択必修科目	情報システム	2前	2				1				
マルチメディア論			2前	2		0							
統計解析基礎			3・4前	2			1						
統計解析応用			3・4後	2			1						
メディア社会	3・4後	2					1						
ジャーナリズム論A	3・4前	2			1								
ジャーナリズム論B	3・4後	2			1								
共通関連科目 選択必修科目	心理学概論A	1・2前	2									兼1	
	心理学概論B	1・2後	2									兼1	
	スポーツ社会学	1・2前	2									兼1	
	スポーツ心理学	1・2後	2									兼1	
	ミクロ経済学A	1・2前	2									兼1	
	ミクロ経済学B	1・2後	2									兼1	
	マクロ経済学A	1・2前	2									兼1	
	マクロ経済学B	1・2後	2									兼1	
	キャリアの社会学	2後	2					1					
	経営学概論A	2前	2			1							
	経営学概論B	2後	2			1							
	コミュニケーション論	2前	2									兼1	
	社会システム論A	2前	2		1								
	社会システム論B	2後	2		1								
	社会科学の歴史A	2前	2		1								
	社会科学の歴史B	2後	2		1								
	公共政策論	3・4前	2									兼1	
	行動分析学A	3・4前	2									兼1	
	行動分析学B	3・4後	2									兼1	

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
多文化と共生コース関連科目	国際関係論	1・2前	2								兼1
	サブカルチャー論	1・2後	2			1					兼1
	地域研究(アジア)	2前	2								兼1
	地域研究(中東)	2後	2								兼1
	教育心理学A	2前	2								兼1
	教育心理学B	2後	2								兼1
	環境経営	2前	2				1				
	社会心理学A	3・4前	2								兼1
	社会心理学B	3・4後	2								兼1
	社会階層論	3・4前	2			1					
都市と地域コース関連科目	民法A	1・2前	2								兼1
	民法B	1・2後	2								兼1
	産業心理学A	2前	2								兼1
	産業心理学B	2後	2								兼1
	コミュニティ心理学	2後	2				1				
	都市・地域政策論	2後	2				1				
	NPO/NGOの社会学	3・4前	2								兼1
	地方財政論	3・4前	2					1			
	金融論	3・4前	2								兼1
	産業社会学A	3・4前	2				1				
メディアと情報コース関連科目	心理学基礎実験A	1・2前	2					1			
	心理学基礎実験B	1・2後	2					1			
	マスコミ史	2前	2			1					
	臨床心理学	2前	2					1			
	心理統計学	2後	2								兼1
	情報ネットワーク	2前	2								兼1
	広告論	3・4後	2			1					
	ビッグデータ論	3・4前	2								兼1
	コンテンツ産業論	3・4前	2					1			
	プログラミング基礎	3・4前	2				1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
多文化と共生コース関連科目	国際関係論	1・2前	2									兼1
	サブカルチャー論	1・2前	2			0						兼1
	地域研究(アジア)	2前	2					1				兼1
	地域研究(中東)	2後	2									兼1
	教育心理学A	2前	2									兼1
	教育心理学B	2後	2									兼1
	環境経営	2前	2					1				
	社会心理学A	3・4前	2									兼1
	社会心理学B	3・4後	2									兼1
	社会階層論	3・4前	2			1						
都市と地域コース関連科目	民法A	1・2前	2									兼1
	民法B	1・2後	2									兼1
	産業心理学A	2前	2									兼1
	産業心理学B	2後	2									兼1
	コミュニティ心理学	2後	2						1			
	都市・地域政策論	2後	2					1				
	NPO/NGOの社会学	3・4前	2									兼1
	地方財政論	3・4前	2						1			
	金融論	3・4前	2									兼1
	産業社会学A	3・4前	2				1					
メディアと情報コース関連科目	心理学基礎実験A	1・2前	2						1			
	心理学基礎実験B	1・2後	2						1			
	マスコミ史	2前	2			1						
	臨床心理学	2前	2						1			
	心理統計学	2後	2									兼1
	情報ネットワーク	2前	2									兼1
	広告論	3・4後	2			1						
	ビッグデータ論	3・4前	2									兼1
	コンテンツ産業論	3・4前	2						1			
	プログラミング基礎	3・4前	2				1					

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	特殊講義科目	社会学特殊講義Ⅰ	3・4前	2		1						
		社会学特殊講義Ⅱ	3・4前	2		1						
	キャリア支援科目	キャリア支援特殊講義Ⅰ	1・2前	2		1						兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅱ	1・2後	2		1						兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅲ	1・2前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅳ	1・2後	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅴ	3・4前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅵ	3・4後	2			1					兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅶ	3・4前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅷ	3・4後	2			1					兼1
	インターンシップ	3前	2									兼1
	研修科目	社会活動Ⅰ	1通	2		1						
		社会活動Ⅱ	1通	2		1						
		社会活動Ⅲ	1通	2				1				
海外研修A		2前	2		1							
海外研修B		2前	2		1							
国内研修A		2前	2		1							
国内研修B	2前	2				1						
外国人留学生に関する日本語科目等	コース活動	フィールドワークA	1・2前	2							兼1	
		フィールドワークB	1・2後	2							兼1	
	内容コース	日本の政治・経済・社会A	1・2前	2								兼1
		日本の政治・経済・社会B	1・2後	2								兼1
		日本の文化・芸術A	1・2前	2								兼1
		日本の文化・芸術B	1・2後	2								兼1
		日本の歴史A	1・2前	2								兼1
		日本の歴史B	1・2後	2								兼1
		現代日本の諸相A	1・2前	2								兼1
		現代日本の諸相B	1・2後	2								兼1
	言語コース(発展)	理解とコミュニケーションA	1・2前	1								兼1
		理解とコミュニケーションB	1・2後	1								兼1
		資料・文献読解A	1・2前	1								兼1
		資料・文献読解B	1・2後	1								兼1
日本語文章表現A		1・2前	1								兼1	
日本語文章表現B		1・2後	1								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	特殊講義科目	社会学特殊講義Ⅰ	3・4前	2		1						
		社会学特殊講義Ⅱ	3・4前	2		0						
	キャリア支援科目	キャリア支援特殊講義Ⅰ	1・2前	2		1						兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅱ	1・2後	2		1						兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅲ	1・2前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅳ	1・2後	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅴ	3・4前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅵ	3・4後	2				1				兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅶ	3・4前	2								兼1
		キャリア支援特殊講義Ⅷ	3・4後	2				1				兼1
	インターンシップ	3前	2									兼1
	研修科目	社会活動Ⅰ	1通	2		1						
		社会活動Ⅱ	1通	2		1						
		社会活動Ⅲ	1通	2					1			
海外研修A		2前	2		1							
海外研修B		2前	2		1							
国内研修A		2前	2		1							
国内研修B	2前	2						1				
外国人留学生に関する日本語科目等	コース活動	フィールドワークA	1・2前	2								兼2
		フィールドワークB	1・2後	2								兼2
	内容コース	日本の政治・経済・社会A	1・2前	2								兼1
		日本の政治・経済・社会B	1・2後	2								兼1
		日本の文化・芸術A	1・2前	2								兼1
		日本の文化・芸術B	1・2後	2								兼1
		日本の歴史A	1・2前	2								兼1
		日本の歴史B	1・2後	2								兼1
		現代日本の諸相A	1・2前	2								兼1
		現代日本の諸相B	1・2後	2								兼1
	言語コース(発展)	理解とコミュニケーションA	1・2前	1								兼2
		理解とコミュニケーションB	1・2後	1								兼2
		資料・文献読解A	1・2前	1								兼3
		資料・文献読解B	1・2後	1								兼3
日本語文章表現A		1・2前	1								兼2	
日本語文章表現B		1・2後	1								兼2	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・北澤恒人教授の担当科目変更の理由により、「哲学A」及び「哲学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更し、松村健吾兼任講師の就任による理由により、同科目の兼任・兼担を「兼1」から「兼2」にそれぞれ変更。
- ・高井（小林）宏子教授の担当科目変更の理由により、「文学A」及び「文学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更。
- ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「芸術学A」及び「芸術学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更。
- ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「フレッシュマンセミナーA」及び「フレッシュマンセミナーB」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・「実用コミュニケーション英語1～4」について、届出時に記載した兼任・兼担の配置教員数の一部未計上1名分を修正。
- ・土居良一准教授就任の理由により、「地域研究（アジア）」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加変更。
- ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「サブカルチャー論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更し、古橋達弘兼任講師の就任による理由により、同科目の兼任・兼担を「兼任1」に変更。また、配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「マルチメディア論」、「地域研究（北米）」及び「社会学特殊講義Ⅱ」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更。科目開設時（2年前期）までに後任の専任教員採用予定。
- ・外国人留学生に関する日本語科目等群の一部科目について、届出時に記載した兼任・兼担の配置教員数の一部未計上分を修正。
- ・遠藤知佐兼任講師就任辞退の理由により、「日本語文章表現A」及び「日本語文章表現B」の兼任・兼担を「兼3」から「兼2」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
19 科目	242 科目	0 科目	261 科目	19 科目 [0]	242 科目 [0]	0 科目 [0]	261 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{261} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校地等「その他」… 「校地面積」不算入施 設用地が含まれていた ことによる修正(30)			
	校舎敷地	66,525.45 m ²	0 m ²	0 m ²	66,525.45 m ²				
	運動場用地	47,531.69 m ²	0 m ²	0 m ²	47,531.69 m ²				
	小 計	114,057.14 m ²	0 m ²	0 m ²	114,057.14 m ²				
	そ の 他	161,612.31 162,220.71	0 m ²	0 m ²	161,612.31 162,220.71				
	合 計	275,669.45 276,277.85	0 m ²	0 m ²	275,669.45 276,277.85				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	115,154.57 m ² (111,810.57 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	115,154.57 m ² (111,810.57 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	既設学部・学科との共 有を含む			
	168 室	36 室	18 室	27 室 (補助職員 10 人)	9 室 (補助職員 8 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	社会学部 社会学科		20 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む 図書・視聴覚資料…購 入計画の精査による修 正(30)	
	社会学部 社会学科	275,251 [60,850] 248,122 [58,371] (255,435 [59,014])	1,135 [293] (1,135 [293])	86 [82] (86 [82])	1,873[591] 1,697[591] (1,741[591])	0 (0)	0 (0)		
	計	275,251 [60,850] 248,122 [58,371] (255,435 [59,014])	1,135 [293] (1,135 [293])	86 [82] (86 [82])	1,873[591] 1,697[591] (1,741[591])	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体					
	14,659.66 m ²	1,759 席	1,750,600						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					面積…申請時未計上分 を追加修正(30)		
	13,956.56 11,443.20 m ²	野球場、ラグビー場、テニスコート、弓道場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等…大学全 体。申請者数が見込み より下回ったことによ る差額(30) 図書購入費及び設備購 入費…購入計画等の精 査による修正変更(30)
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	14,889千円 8,629千円	17千円 11,833千円	5,600千円 13,674千円	
	共同研究費等	9,000千円 20,000千円	20,000千円	設備購入費	872千円 3,294千円	6,554千円 1,500千円	6,554千円 6,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,204千円	947千円	947千円	947千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	大東文化大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部>									
文学部									
日本文学科	4	150	—	600	学士 (日本文学)	1.10	昭和37年度	}	
中国文学科	4	70	—	280	学士 (中国文学)	1.04	昭和37年度		
英米文学科	4	130	—	520	学士 (英米文学)	1.11	昭和42年度		
教育学科	4	120	—	480	学士 (教育学)	1.06	昭和47年度		
書道学科	4	60	—	240	学士 (書道学)	1.07	平成12年度		
歴史文化学科	4	100	—	400	学士 (歴史文化学)	1.01	平成30年度		
経済学部									
社会経済学科	4	205	—	820	学士 (経済学)	1.08	昭和37年度	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560	
現代経済学科	4	165	—	660	学士 (経済学)	1.10	平成13年度		
外国語学部									
中国語学科	4	70	—	280	学士 (中国語学)	1.02	昭和47年度	}	
英語学科	4	230	—	920	学士 (英語学)	1.09	昭和47年度		
日本語学科	4	60	—	240	学士 (日本語学)	1.16	平成5年度		
法学部									
法律学科	4	225	—	900	学士 (法学)	1.06	昭和48年度	}	
政治学科	4	150	—	600	学士 (政治学)	1.08	平成2年度		
国際関係学部									
国際関係学科	4	100	—	400	学士 (国際関係)	1.15	昭和61年度	埼玉県東松山市 岩殿560	
国際文化学科	4	100	—	400	学士 (国際関係)	1.07	昭和61年度		
経営学部									
経営学科	4	365	—	1,460	学士 (経営学)	1.10	平成12年度	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560	平成28年より学生募集停止
企業システム学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	平成12年度		
環境創造学部									
環境創造学科	4	—	—	—	学士 (環境創造学)	—	平成13年度	}	平成30年より学生募集停止
スポーツ・健康科学部									
スポーツ科学科	4	125	—	500	学士 (スポーツ科学)	1.14	平成17年度	埼玉県東松山市 岩殿560	
健康科学科	4	100	—	400	学士 (健康科学)	1.03	平成17年度		
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.10	平成30年度		

大学の名称	大東文化大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入 学 員	収 入 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
社会学部									
社会学科	4	200	—	800	学士 (社会学)	1.02	平成30年度	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560 (3・4年次) 東京都板橋区高島平 1-9-1	
<大学院>									
文学研究科									
日本文学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (日本文学)	0.30	昭和39年度	東京都板橋区高島平 1-9-1	
中国学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (中国学)	0.20	昭和39年度		
英文学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (英文学)	0.40	昭和53年度		
書道学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士 (書道学)	1.21	平成15年度		
教育学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (教育学)	0.25	平成20年度		
日本文学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (日本文学)	0.13	昭和47年度		
中国学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (中国学)	0.00	昭和42年度		
書道学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (書道学)	0.44	平成17年度		
経済学研究科									
経済学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (経済学) (公共政策学)	0.20	昭和47年度		
経済学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (経済学)	0.00	昭和53年度		
法学研究科									
法学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (法学)	0.05	昭和52年度		
政治学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士 (政治学) (公共政策学)	0.00	平成6年度		
法学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (法学)	0.00	平成3年度		
政治学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (政治学)	0.08	平成8年度		
外国語学研究科									
中国言語文化学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (中国言語 文化学)	0.60	平成11年度		
英語学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (英語学)	1.00	平成11年度		
日本言語文化学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (日本言語 文化学)	0.15	平成11年度		
中国言語文化学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (中国言語 文化学)	0.55	平成23年度		
英語学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (英語学)	0.99	平成17年度		
日本言語文化学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (日本言語 文化学)	0.44	平成19年度		
アジア地域研究科									
アジア地域研究専攻 (博士前期課程)	2	12	—	24	修士 (アジア 地域研究)	0.49	平成11年度	埼玉県東松山市 岩殿560	
アジア地域研究専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (アジア 地域研究)	0.00	平成13年度		

大学の名称	大東文化大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
経営学研究科 経営学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士 (経営学)	0.16	平成15年度	東京都板橋区高島平 1-9-1	平成27年より学生募集停止
経営学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (経営学)	0.13	平成15年度		
スポーツ・健康科学 研究科 スポーツ・健康科学 専攻(修士課程)	2	10	—	20	修士 (スポーツ科学) (健康科学)	0.80	平成21年度	埼玉県東松山市 岩殿560	
法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程)	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成16年度	東京都新宿区 信濃町34番地 JR信濃町ビル	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<社会学部 社会学科>

(1) ① 担当教員表

【届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	馬場 靖雄 <平成30年4月> 社会学入門A 社会学入門B 社会学の諸相※ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会学理論A 社会学理論B 社会システム論A 社会システム論B	専	教授	馬場 靖雄 <平成30年4月> 社会学入門A 社会学入門B 社会学の諸相※ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会学理論A 社会学理論B 社会システム論A 社会システム論B
専	教授	植野 一芳 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 成熟社会A 成熟社会B 地域福祉論 社会活動Ⅰ 国内研修A	専	教授	植野 一芳 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 成熟社会A 成熟社会B 地域福祉論 社会活動Ⅰ 国内研修A
専	教授	川野 幸男 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 国際社会学 多文化社会論 社会階層論 エスニシティ	専	教授	川野 幸男 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 国際社会学 多文化社会論 社会階層論 エスニシティ
専	教授	北澤 恒人 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB Introduction to Sociology (外書講読) 社会科学の歴史A 社会科学の歴史B 地域研究(ヨーロッパ) 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B	専	教授	北澤 恒人 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB Introduction to Sociology (外書講読) 社会科学の歴史A 社会科学の歴史B 地域研究(ヨーロッパ) 哲学A(※平成31年度以降開講予定) 哲学B(※平成31年度以降開講予定) 倫理学A 倫理学B
専	教授	高井(小林) 宏子 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 文学A 文学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB	専	教授	高井(小林) 宏子 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 文学A(※平成31年度以降開講予定) 文学B(※平成31年度以降開講予定) 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB
専	特任教授	高井(小林) 宏子 <平成33年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会	専	特任教授	高井(小林) 宏子 <平成33年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	中垣 恒太郎 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB マルチメディア論 サファルチャー論 地域研究(北米) 社会学特殊講義Ⅱ 芸術学A 芸術学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 自己・人間をみつめるA 自己・人間をみつめるB
専	教授	中野 紀和 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 文化人類学 文化社会学 文化人類学A 文化人類学B
専	教授	山口 みどり <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 歴史社会学 家族社会学 ジェンダーの社会学A ジェンダーの社会学B 社会活動Ⅱ
専	教授	Ronald Geoffrey STEWART <平成30年4月> 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4 海外英語研修 社会学特殊講義Ⅰ キャリア支援特殊講義Ⅰ キャリア支援特殊講義Ⅱ 海外研修B
専	特任教授	野嶋 剛 <平成31年4月> マスコミュニケーション論A マスコミュニケーション論B ジャーナリズム論A ジャーナリズム論B マスコミ史 広告論 キャリア支援特殊講義Ⅶ 海外研修A
専	准教授	阿部 英之助 <平成30年4月> 社会調査Ⅰ 社会調査Ⅱ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 地域社会学A 地域社会学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	中野 紀和 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 文化人類学 文化社会学 文化人類学A 文化人類学B
専	教授	山口 みどり <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 歴史社会学 家族社会学 ジェンダーの社会学A ジェンダーの社会学B 社会活動Ⅱ
専	教授	Ronald Geoffrey STEWART <平成30年4月> 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4 海外英語研修 社会学特殊講義Ⅰ キャリア支援特殊講義Ⅰ キャリア支援特殊講義Ⅱ 海外研修B
専	特任教授	野嶋 剛 <平成31年4月> マスコミュニケーション論A マスコミュニケーション論B ジャーナリズム論A ジャーナリズム論B マスコミ史 広告論 キャリア支援特殊講義Ⅶ 海外研修A
専	准教授	阿部 英之助 <平成30年4月> 社会調査Ⅰ 社会調査Ⅱ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 地域社会学A 地域社会学B

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	准教授	上地 宏一 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 情報科学概論 プログラミング基礎 プログラミング応用 ネットワークコンピュータ
専	准教授	小湊 浩二 <平成30年4月> 社会学の諸相※ 社会統計入門 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 統計解析基礎 統計解析応用 産業社会学A 産業社会学B
専	准教授	齋藤 博 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会調査実習 都市社会学 都市・地域政策論
専	准教授	鶴田 佳史 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 経営学概論A 経営学概論B 環境経営 キャリア支援特殊講義VI
専	講師	小野田 竜一 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB コミュニティ心理学 心理学基礎実験A 心理学基礎実験B 臨床心理学 実験社会心理学A 実験社会心理学B 心理学A 心理学B
専	講師	香川 めい <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 教育社会学 格差社会論 社会学史 量的調査法 キャリアの社会学 社会学A 社会学B 教育学A 教育学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	准教授	上地 宏一 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 情報科学概論 プログラミング基礎 プログラミング応用 ネットワークコンピュータ
専	准教授	小湊 浩二 <平成30年4月> 社会学の諸相※ 社会統計入門 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 統計解析基礎 統計解析応用 産業社会学A 産業社会学B
専	准教授	齋藤 博 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 社会調査実習 都市社会学 都市・地域政策論
専	准教授	土居 良一 <平成30年4月> 地域研究(アジア)
専	准教授	鶴田 佳史 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 社会学演習II 卒業研究 経営学概論A 経営学概論B 環境経営 キャリア支援特殊講義VI
専	講師	小野田 竜一 <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB コミュニティ心理学 心理学基礎実験A 心理学基礎実験B 臨床心理学 実験社会心理学A 実験社会心理学B 心理学A 心理学B
専	講師	香川 めい <平成30年4月> フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習I 教育社会学 格差社会論 社会学史 量的調査法 キャリアの社会学 社会学A 社会学B 教育学A 教育学B

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	講師	周東 美材 ＜平成30年4月＞
		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学の諸相※ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 情報社会論 情報システム メディア社会 コンテンツ産業論
専	講師	塚本 正文 ＜平成30年4月＞
		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 財政学A 財政学B 地方財政論 社会活動Ⅲ 国内研修B
専	講師	飯塚 裕介 ＜平成30年4月＞
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 地域デザイン論 ソーシャルキャピタル論
兼任	教授	臼杵 英一 ＜平成30年4月＞
		国際関係論
兼任	教授	浦田 健二 ＜平成30年4月＞
		現代科学A 現代科学B 自然科学A 自然科学B
兼任	教授	大杉 由香 ＜平成30年4月＞
		現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B
兼任	教授	大月 実 ＜平成30年4月＞
		言語学A 言語学B
兼任	教授	岡崎 邦彦 ＜平成30年4月＞
		歴史学A 歴史学B
兼任	教授	加瀬 幸喜 ＜平成30年4月＞
		法学A 法学B
兼任	教授	上村 圭介 ＜平成30年4月＞
		言語学A 言語学B 資料・文献読解A 資料・文献読解B
兼任	教授	遠藤 元 ＜平成31年4月＞
		地域研究(アジア)
兼任	教授	川本 竜史 ＜平成30年4月＞
		総合体育A 総合体育B
兼任	教授	島田 恵司 ＜平成32年4月＞
		地方自治

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	講師	周東 美材 ＜平成30年4月＞
		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学の諸相※ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 情報社会論 情報システム メディア社会 コンテンツ産業論
専	講師	塚本 正文 ＜平成30年4月＞
		フレッシュマンセミナーA フレッシュマンセミナーB 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 財政学A 財政学B 地方財政論 社会活動Ⅲ 国内研修B
専	講師	飯塚 裕介 ＜平成30年4月＞
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 卒業研究 社会調査実習 地域デザイン論 ソーシャルキャピタル論
兼任	教授	臼杵 英一 ＜平成30年4月＞
		国際関係論
兼任	教授	浦田 健二 ＜平成30年4月＞
		現代科学A 現代科学B 自然科学A 自然科学B
兼任	教授	大杉 由香 ＜平成30年4月＞
		現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B
兼任	教授	大月 実 ＜平成30年4月＞
		言語学A 言語学B
兼任	教授	岡崎 邦彦 ＜平成30年4月＞
		歴史学A 歴史学B
兼任	教授	加瀬 幸喜 ＜平成30年4月＞
		法学A 法学B
兼任	教授	上村 圭介 ＜平成30年4月＞
		言語学A 言語学B 資料・文献読解A 資料・文献読解B
兼任	教授	遠藤 元 ＜平成31年4月＞
		地域研究(アジア)
兼任	教授	川本 竜史 ＜平成30年4月＞
		総合体育A 総合体育B
兼任	教授	島田 恵司 ＜平成32年4月＞
		地方自治

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	高尾 謙史 <平成30年4月> 文学A 文学B
兼任	教授	竹島 毅 <平成30年4月> 中国語初級1A 中国語初級1B
兼任	教授	武田 知己 <平成30年4月> 政治学A 政治学B
兼任	教授	只隈 伸也 <平成30年4月> 総合体育A 総合体育B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B
兼任	教授	田中 達也 <平成30年4月> 地理学A 地理学B 地域・国家・民族の 考察A 地域・国家・民族の 考察B
兼任	教授	田中 博史 <平成30年4月> 総合体育A 総合体育B 野外実習A 野外実習B スポーツ心理学
兼任	教授	千葉 一幹 <平成30年4月> 文学A 文学B 異文化・世界にふれ るA 異文化・世界にふれ るB
兼任	教授	寺田 浩司 <平成30年4月> 生物学A 生物学B 現代科学A 現代科学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B
兼任	教授	内藤 二郎 <平成30年4月> 現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B
兼任	教授	中井 睦美 <平成30年4月> 地学A 地学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B
兼任	教授	中澤 紀子 <平成30年4月> 自己・人間を見つめ るA 自己・人間を見つめ るB
兼任	教授	中村 年春 <平成32年4月> 消費者政策 キャリア支援特殊講 義V キャリア支援特殊講 義VII
兼任	教授	中村 正雄 <平成30年4月> 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	竹島 毅 <平成30年4月> 中国語初級1A 中国語初級1B
兼任	教授	武田 知己 (47) <平成30年4月> 政治学A 政治学B
兼任	教授	只隈 伸也 <平成30年4月> 総合体育A 総合体育B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B
兼任	教授	田中 達也 <平成30年4月> 地域・国家・民族の 考察A 地域・国家・民族の 考察B
兼任	教授	田中 博史 <平成30年4月> 総合体育A 総合体育B 野外実習A 野外実習B スポーツ心理学
兼任	教授	千葉 一幹 <平成30年4月> 文学A 文学B 異文化・世界にふれ るA 異文化・世界にふれ るB
兼任	教授	寺田 浩司 <平成30年4月> 生物学A 生物学B 現代科学A 現代科学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B
兼任	教授	中井 睦美 <平成30年4月> 地学A 地学B 全学共通特殊講義A 全学共通特殊講義B
兼任	教授	中澤 紀子 <平成30年4月> 自己・人間を見つめ るA 自己・人間を見つめ るB
兼任	教授	中村 年春 <平成32年4月> 消費者政策 キャリア支援特殊講 義V キャリア支援特殊講 義VII
兼任	教授	中村 正雄 <平成30年4月> 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	新里 孝一 ＜平成30年4月＞
		ケアの社会学 日本の政治・経済・ 社会A 日本の政治・経済・ 社会B
兼任	教授	水谷 正大 ＜平成30年4月＞
		情報科学A 情報科学B
兼任	教授	宮城 修 ＜平成30年4月＞
		総合体育A 総合体育B
兼任	教授	宮瀧 交二 ＜平成30年4月＞
		考古学A 考古学B
兼任	教授	武藤 慎一 ＜平成30年4月＞
		宗教学A 宗教学B
兼任	教授	森 稔樹 ＜平成32年4月＞
		行政法
兼任	教授	森 浩寿 ＜平成30年4月＞
		スポーツ社会学
兼任	教授	山下 稔子 ＜平成30年4月＞
		経済学A 経済学B
兼任	教授	山根 雄一郎 ＜平成30年4月＞
		哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B
兼任	准教授	池本 今日子 ＜平成30年4月＞
		歴史学A 歴史学B 文化史A 文化史B
兼任	准教授	大上 忠幸 ＜平成30年4月＞
		フィールドワークA フィールドワークB 理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB
兼任	准教授	大河原 尚 ＜平成30年4月＞
		フィールドワークA フィールドワークB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B
兼任	准教授	工藤 保子 ＜平成31年4月＞
		体育実技A 体育実技B
兼任	准教授	白井 康之 ＜平成33年4月＞
		ビッグデータ論
兼任	准教授	金澤 妙子 ＜平成30年4月＞
		女性・子ども・老人 への視点A 女性・子ども・老人 への視点B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	新里 孝一 ＜平成30年4月＞
		ケアの社会学
兼任	教授	水谷 正大 ＜平成30年4月＞
		情報科学A 情報科学B
兼任	教授	宮城 修 ＜平成30年4月＞
		総合体育A 総合体育B
兼任	教授	宮瀧 交二 ＜平成30年4月＞
		考古学A 考古学B
兼任	教授	武藤 慎一 ＜平成30年4月＞
		宗教学A 宗教学B
兼任	教授	森 稔樹 ＜平成32年4月＞
		行政法
兼任	教授	森 浩寿 ＜平成30年4月＞
		スポーツ社会学
兼任	教授	山下 稔子 ＜平成30年4月＞
		経済学A 経済学B
兼任	教授	山根 雄一郎 ＜平成30年4月＞
		哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B
兼任	准教授	池本 今日子 ＜平成30年4月＞
		歴史学A 歴史学B 文化史A 文化史B
兼任	准教授	大上 忠幸 ＜平成30年4月＞
		フィールドワークA フィールドワークB 理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB
兼任	准教授	大河原 尚 ＜平成30年4月＞
		フィールドワークA フィールドワークB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B
兼任	准教授	工藤 保子 ＜平成31年4月＞
		体育実技A 体育実技B
兼任	准教授	白井 康之 ＜平成33年4月＞
		ビッグデータ論
兼任	准教授	金澤 妙子 ＜平成30年4月＞
		女性・子ども・老人 への視点A 女性・子ども・老人 への視点B

【届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼担	准教授	燕木 智子 <平成30年4月> 現代科学A 現代科学B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B
兼担	准教授	神谷 諭一 <平成30年4月> 数学A 数学B 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼担	准教授	小林 春樹 <平成30年4月> 歴史学A 歴史学B
兼担	准教授	白井 春人 <平成30年4月> 芸術学A 芸術学B
兼担	准教授	杉田 明宏 <平成30年4月> 人権・民主主義・平和を考えるA 人権・民主主義・平和を考えるB
兼担	准教授	高屋 康彦 <平成30年4月> 地理学A 地理学B
兼担	准教授	萩原 基裕 <平成30年4月> 法学A 法学B
兼担	准教授	橋本 みのり <平成30年4月> 生物学A 生物学B 生態学A 生態学B
兼担	准教授	本間 俊行 <平成30年4月> 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B
兼担	准教授	松崎 友世 <平成30年4月> 心理学A 心理学B
兼担	准教授	村井 信幸 <平成30年4月> 歴史学A 歴史学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼担	准教授	勝俣 康之 <平成30年4月> 体育実技A 体育実技B
兼担	准教授	燕木 智子 <平成30年4月> 現代科学A 現代科学B 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B
兼担	准教授	神谷 諭一 <平成30年4月> 数学A 数学B 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼担	准教授	小林 春樹 <平成30年4月> 歴史学A 歴史学B
兼担	准教授	白井 春人 <平成30年4月> 芸術学A 芸術学B
兼担	教授	杉田 明宏 <平成30年4月> 人権・民主主義・平和を考えるA 人権・民主主義・平和を考えるB
兼担	准教授	高屋 康彦 <平成30年4月> 地理学A 地理学B
兼担	准教授	津曲 真一 <平成30年4月> 宗教学A 宗教学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼担	准教授	野瀬 元子 <平成30年4月> 現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B
兼担	准教授	萩原 基裕 <平成30年4月> 法学A 法学B
兼担	准教授	橋本 みのり <平成30年4月> 生物学A 生物学B 生態学A 生態学B
兼担	准教授	本間 俊行 <平成30年4月> 健康スポーツ科学A 健康スポーツ科学B
兼担	教授	松崎 友世 <平成30年4月> 心理学A 心理学B
兼担	准教授	村井 信幸 <平成30年4月> 歴史学A 歴史学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB

【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	准教授	吉永 良正 <平成30年4月> 論理学A 論理学B
兼任	講師	浅沼(川野) 薫奈 <平成30年4月> 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼任	講師	木村 竜太 <平成30年4月> 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB
兼任	講師	佐藤 真太郎 <平成30年4月> 総合体育A 総合体育B
兼任	講師	高田 未里 <平成30年4月> 心理学A 心理学B 心理学概論A 心理学概論B 産業心理学A 産業心理学B
兼任	講師	福井(小川) 庸子 <平成30年4月> キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	藤井 誠一郎 <平成30年4月> 政治学A 政治学B
兼任	講師	青木 敬子 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会
兼任	講師	粟津 賢太 <平成32年4月> 宗教社会学
兼任	講師	井島 由佳 <平成30年4月> キャリア支援特殊講義Ⅲ キャリア支援特殊講義Ⅳ インターンシップ
兼任	講師	出野 由紀子 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	准教授	吉永 良正 <平成30年4月> 論理学A 論理学B
兼任	講師	浅沼(川野) 薫奈 <平成30年4月> 自己・人間を見つめるA 自己・人間を見つめるB
兼任	講師	小野寺 賢一 <平成30年4月> ドイツ語初級1A ドイツ語初級1B
兼任	講師	木村 竜太 <平成30年4月> 文学A 文学B 異文化・世界にふれるA 異文化・世界にふれるB
兼任	講師	佐藤 真太郎 <平成30年4月> 総合体育A 総合体育B
兼任	准教授	高田 未里 <平成30年4月> 心理学A 心理学B 心理学概論A 心理学概論B 産業心理学A 産業心理学B
兼任	講師	福井(小川) 庸子 <平成30年4月> キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	准教授	藤井 誠一郎 <平成30年4月> 政治学A 政治学B
兼任	講師	青木 敬子 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会
兼任	講師	粟津 賢太 <平成32年4月> 宗教社会学
兼任	講師	井島 由佳 <平成30年4月> キャリア支援特殊講義Ⅲ キャリア支援特殊講義Ⅳ インターンシップ
兼任	講師	出野 由紀子 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 紗央里 <平成30年4月>
		実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	井上 道哉 <平成31年4月>
		情報ネットワーク
兼任	講師	遠藤 知佐 <平成30年4月>
		日本語文章表現A 日本語文章表現B
兼任	講師	大澤 美和 <平成30年4月>
		ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	講師	大島 岳 <平成31年4月>
		社会調査法
兼任	講師	小幡 真希 <平成31年4月>
		心理統計学 情報処理実習
兼任	講師	亀井ダイチ利永子 <平成30年4月>
		日本の文化・芸術A 日本の文化・芸術B 日本の歴史A 日本の歴史B 現代日本の諸相A 現代日本の諸相B
兼任	講師	亀澤 孝幸 <平成30年4月>
		芸術学A 芸術学B
兼任	講師	川島 安博 <平成31年4月>
		情報と統計基礎実習
兼任	講師	川本 勝 <平成30年4月>
		情報処理基礎I 情報処理基礎II
兼任	講師	木川 裕 <平成30年4月>
		情報科学A 情報科学B
兼任	講師	金 在根 <平成32年4月>
		障がい福祉論
兼任	講師	黒柳 修一 <平成30年4月>
		教育学A 教育学B
兼任	講師	幸田 佳子 <平成30年4月>
		理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 紗央里 <平成30年4月>
		実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	井上 道哉 <平成31年4月>
		情報ネットワーク
兼任	講師	内田 知行 <平成30年4月>
		日本の政治・経済・社会A 日本の政治・経済・社会B
兼任	講師	大澤 美和 <平成30年4月>
		ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	講師	大島 岳 <平成31年4月>
		社会調査法
兼任	講師	小幡 真希 <平成31年4月>
		心理統計学 情報処理実習
兼任	講師	亀井ダイチ利永子 <平成30年4月>
		日本の文化・芸術A 日本の文化・芸術B 日本の歴史A 日本の歴史B 現代日本の諸相A 現代日本の諸相B
兼任	講師	亀澤 孝幸 <平成30年4月>
		芸術学A 芸術学B
兼任	講師	川島 安博 <平成31年4月>
		情報と統計基礎実習
兼任	講師	川本 勝 <平成30年4月>
		情報処理基礎I 情報処理基礎II
兼任	講師	木川 裕 <平成30年4月>
		情報科学A 情報科学B
兼任	講師	金 在根 <平成32年4月>
		障がい福祉論
兼任	講師	黒柳 修一 <平成30年4月>
		教育学A 教育学B
兼任	講師	幸田 佳子 <平成30年4月>
		理解とコミュニケーションA 理解とコミュニケーションB 日本語文章表現A 日本語文章表現B 資料・文献読解A 資料・文献読解B

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	児島(鈴木) 由理 <平成30年4月> ドイツ語初級2A ドイツ語初級2B
兼任	講師	五味 由典 <平成32年4月> 知的財産法
兼任	講師	佐久間 千尋 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会
兼任	講師	佐藤 亮輔 <平成31年4月> 体育実技A 体育実技B
兼任	講師	柴田 徹 <平成30年4月> 情報処理基礎I 情報処理基礎II
兼任	講師	鈴木 幸 <平成30年4月> 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	高岡 文章 <平成32年4月> 観光社会学
兼任	講師	高橋 明美 <平成30年4月> フランス語初級1A フランス語初級1B フランス語初級2A フランス語初級2B
兼任	講師	高橋 優子 <平成32年4月> 子ども福祉論
兼任	講師	田村 亮 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	鄭 俊坤 <平成30年4月> コリア語基礎1A コリア語基礎1B コリア語基礎2A コリア語基礎2B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	五味 由典 <平成32年4月> 知的財産法
兼任	講師	斎野 岳郎 <平成30年4月> 地理学A 地理学B
兼任	講師	佐久間 千尋 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会
兼任	講師	佐藤 亮輔 <平成31年4月> 体育実技A 体育実技B
兼任	講師	佐山 一 <平成30年4月> フランス語初級2A フランス語初級2B
兼任	講師	柴田 徹 <平成30年4月> 情報処理基礎I 情報処理基礎II
兼任	講師	鈴木 幸 <平成30年4月> 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	高岡 文章 <平成32年4月> 観光社会学
兼任	講師	高橋 明美 <平成30年4月> フランス語初級1A フランス語初級1B
兼任	講師	高橋 優子 <平成32年4月> 子ども福祉論
兼任	講師	田中 英司 <平成30年4月> 考古学A 考古学B
兼任	講師	田村 亮 <平成30年4月> 時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	鄭 俊坤 <平成30年4月> コリア語基礎1A コリア語基礎1B コリア語基礎2A コリア語基礎2B

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	塚野 壽一 ＜平成30年4月＞
		実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	土肥 義和 ＜平成30年4月＞
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ
兼任	講師	得能 壽美 ＜平成30年4月＞
		地域・国家・民族の考察A 地域・国家・民族の考察B 女性・子ども・老人への視点A 女性・子ども・老人への視点B
兼任	講師	外山 英明 ＜平成31年4月＞
		体育実技A 体育実技B
兼任	講師	中藤 和重 ＜平成32年4月＞
		環境政策論 行政学
兼任	講師	永房 典之 ＜平成31年4月＞
		行動分析学A 行動分析学B 社会心理学A 社会心理学B 教育心理学A 教育心理学B
兼任	講師	仁井田 典子 ＜平成30年4月＞
		キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	西谷内 博美 ＜平成32年4月＞
		環境社会学A 環境社会学B
兼任	講師	野田 恵子 ＜平成32年4月＞
		セクシュアリティ
兼任	講師	橋口 宏行 ＜平成31年4月＞
		金融論
兼任	講師	橋本 幸枝 ＜平成30年4月＞
		中国語初級2A 中国語初級2B
兼任	講師	浜島 一成 ＜平成30年4月＞
		芸術学A 芸術学B
兼任	講師	桧野 智子 ＜平成30年4月＞
		マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	講師	深松 亮太 ＜平成30年4月＞
		時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	塚野 壽一 ＜平成30年4月＞
		実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4
兼任	講師	土肥 義和 ＜平成30年4月＞
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ
兼任	講師	得能 壽美 ＜平成30年4月＞
		地域・国家・民族の考察A 地域・国家・民族の考察B 女性・子ども・老人への視点A 女性・子ども・老人への視点B
兼任	講師	外山 英明 ＜平成31年4月＞
		体育実技A 体育実技B
兼任	講師	中藤 和重 ＜平成32年4月＞
		環境政策論 行政学
兼任	講師	永房 典之 ＜平成31年4月＞
		行動分析学A 行動分析学B 社会心理学A 社会心理学B 教育心理学A 教育心理学B
兼任	講師	仁井田 典子 ＜平成30年4月＞
		キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	講師	西谷内 博美 ＜平成32年4月＞
		環境社会学A 環境社会学B
兼任	講師	野田 恵子 ＜平成32年4月＞
		セクシュアリティ
兼任	講師	橋口 宏行 ＜平成31年4月＞
		金融論
兼任	講師	橋本 幸枝 ＜平成30年4月＞
		中国語初級2A 中国語初級2B
兼任	講師	浜島 一成 ＜平成30年4月＞
		芸術学A 芸術学B
兼任	講師	桧野 智子 ＜平成30年4月＞
		マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	講師	深松 亮太 ＜平成30年4月＞
		時事英語1 時事英語2 時事英語3 英語で読む現代社会 実用コミュニケーション英語1 実用コミュニケーション英語2 実用コミュニケーション英語3 実用コミュニケーション英語4

【届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	福重 清 <平成31年4月> コミュニケーション論	兼任	講師	福重 清 <平成31年4月> コミュニケーション論
			兼任	講師	古橋 達弘 <平成30年4月> サブカルチャー論
兼任	講師	松崎 かおり <平成30年4月> 民俗学A 民俗学B	兼任	講師	松崎 かおり <平成30年4月> 民俗学A 民俗学B
			兼任	講師	松村 健吾 <平成30年4月> 哲学A 哲学B
兼任	講師	丸山 純 <平成31年4月> 地域研究(中東)	兼任	講師	丸山 純 <平成31年4月> 地域研究(中東)
兼任	講師	宮地 弘子 <平成31年4月> 組織社会学	兼任	講師	宮地 弘子 <平成31年4月> 組織社会学
兼任	講師	三輪 睦男 <平成30年4月> 民法A 民法B	兼任	講師	三輪 睦男 <平成30年4月> 民法A 民法B
兼任	講師	村瀬(佐藤) 民子 <平成30年4月> ドイツ語初級1A ドイツ語初級1B	兼任	講師	村瀬(佐藤) 民子 <平成30年4月> ドイツ語初級2A ドイツ語初級2B
兼任	講師	森 良 <平成30年4月> NPO/NGOの社会学	兼任	講師	森 良 <平成30年4月> NPO/NGOの社会学
兼任	講師	八木原 大 <平成31年4月> 福祉医療政策 公共政策論	兼任	講師	八木原 大 <平成31年4月> 福祉医療政策 公共政策論

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、既出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・北澤恒人教授の担当科目「哲学A」及び「哲学B」は、同教授の平成30年度担当科目一部変更の理由により、平成31年度以降開講予定とし、同科目の担当教員として松村健吾兼任講師を追加。
- ・高井（小林）宏子教授の担当科目「文学A」及び「文学B」は、同教授の平成30年度担当科目の一部変更の理由により、平成31年度以降開講予定とする。
- ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「異文化・世界にふれるA」、「異文化・世界にふれるB」、「自己・人間をみつめるA」及び「自己・人間をみつめるB」を津曲真一兼担任教授に変更。「マルチメディア論」、「地域研究（北米）」及び「社会学特殊講義Ⅱ」の後任担当教員は、平成31年度採用予定（講師以上で公募中）。「芸術学A」及び「芸術学B」は、他に3名の担当教員がいるため後任補充は行わない。
- ・中垣恒太郎教授就任辞退の理由により、「サブカルチャー論」を古橋達弘兼任講師に変更。
- ・土居良一兼担任教授が、平成30年4月1日付で環境創造学部からの移籍による就任。なお、平成30年度は環境創造学部開設科目を担当し、社会学部開設科目は平成31年度より担当予定。
- ・高尾謙史兼担任教授の担当科目変更の理由により、「文学A」及び「文学B」を木村竜太兼担任講師に変更。
- ・田中達也兼担任教授の担当科目一部変更の理由により、「地理学A」及び「地理学B」を齋野岳郎兼任講師に変更。
- ・内藤二郎兼担任教授の担当科目変更の理由により、「現代社会の諸問題A」及び「現代社会の諸問題B」を野瀬元子兼担任教授に変更。
- ・新里孝一兼担任教授の担当科目一部変更の理由により、「日本の政治・経済・社会A」及び「日本の政治・経済・社会B」を内田知行兼任講師に変更。
- ・宮瀧交二兼担任教授の担当科目変更の理由により、「考古学A」及び「考古学B」を田中英司兼任講師に変更。
- ・武藤慎一兼担任教授の担当科目変更の理由により、「宗教学A」及び「宗教学B」を津曲真一兼担任教授に変更。
- ・工藤保子兼担任教授の担当科目変更の理由により、「体育実技A」及び「体育実技B」を勝俣康之兼担任教授に変更。
- ・杉田明宏兼担任教授の身分昇格の理由により、職名を「教授」に変更。
- ・松崎友世兼担任教授の身分昇格の理由により、職名を「教授」に変更。
- ・高田未里兼担任講師の身分昇格の理由により、職名を「准教授」に変更。
- ・藤井誠一郎兼担任講師の身分昇格の理由により、職名を「准教授」に変更。
- ・遠藤知佐兼任講師就任辞退の理由により、担当教員表より削除。同講師が担当予定科目であった「日本語文章表現A」及び「日本語文章表現B」は、他に2名の担当教員がいるため後任補充は行わない。
- ・児島（鈴木）由理兼任講師の担当科目変更の理由により、「ドイツ語初級2A」及び「ドイツ語初級2B」を村瀬（佐藤）民子兼任講師に変更。
- ・高橋明美兼任講師の担当科目一部変更の理由により、「フランス語初級2A」及び「フランス語初級2B」を佐山一兼任講師に変更。
- ・村瀬（佐藤）民子兼任講師の担当科目一部変更の理由により、「ドイツ語初級1A」及び「ドイツ語初級1B」を小野寺賢一兼担任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
10	5	5	0	20	8	6	5	0	19	9	6	5	0	20
(9)	(5)	(5)	(0)	(19)						[△1]	[1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70(※1) 65(※2) 歳	0 名	0 名

(※1) …平成23年3月31日までに採用された教員
 (※2) …平成23年4月1日以降に採用された教員

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	中垣 恒太郎	必修	フレッシュマンセミナーA	①	一身上の都合により就任辞退（30）	
			必修	フレッシュマンセミナーB	①		
			選択	サブカルチャー論	②		
			選択	マルチメディア論	③		
			選択	地域研究（北米）	③		
			選択	社会学特設講義Ⅱ (テレビ文化の社会学)	③		
			選択	芸術学A	②		
			選択	芸術学B	②		
			選択	異文化・世界にふれるA	②		
			選択	異文化・世界にふれるB	②		
			選択	自己・人間を見つめるA	②		
			選択	自己・人間を見つめるA	②		
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	10 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	2 科目	計	1 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 ・ 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	10 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	2 科目	計	1 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)\text{合計(D)}+(F)}{(2)-(2)\text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{20} = \boxed{5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

中垣恒太郎教授の就任辞退により、現在後任の専任教員公募を行っているが、同教員が担当予定であった「フレッシュマンセミナー A・B」「サブカルチャー論」(いずれの科目も1年次配当)については、平成30年度は他の専任教員及び兼任講師が担当開講し、またシラバスによる学生への周知を行い、学生への影響が生じないよう対応している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (30年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<社会学部 社会学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①施設、設備等の整備計画</p> <p>東松山キャンパス2号館増築棟については平成30年11月から使用開始、平成31年4月供用開始とする予定。</p> <p>②入学者選抜体制</p> <p>入学者選抜者について、計画、準備・実施にあたっては学長を委員長とする入学試験委員会及び入試広報課がこれを計画する。</p>	<p>設計変更に伴う工期変更により使用開始を平成31年3月中旬に変更。ただし供用開始は平成31年4月とし、教育計画への影響はない。</p> <p>入学試験委員会を廃止し、平成30年4月より入学センターを新たに設置した。入学センターの事業として、入学試験委員会で審議されてきた事項の業務に加え、合格者判定基準等の策定、入学試験の結果の分析及び検証、入学者の追跡調査を行う。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

全学のFD活動については、授業の内容及び方法の改善を図るための全学的な組織として、大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会（以下、「全学FD委員会」とする。）を設置している。また、各学部内にもFD委員会を設置またはFD担当教員が配置されており、各学部等の内容に即した独自のFD活動を行うとともに、各学部のFD委員会委員（またはFD担当委員）が全学FD委員会委員の構成員となることによって、全学のFD活動と学部等のFD活動が関連性をもって活動できる体制をとっている。以下の①～②に、全学FD委員会の平成29年度活動実績について報告する。

全学のSD活動については、毎年度学園全体の教員、事務職員を対象としたコンプライアンスに関する研修（個人情報保護、ハラスメント、研究倫理等）や、事務職員を対象とした人事研修を行っている。

本学園では「大東文化大学FD・SD基本方針」（添付資料①）を定め、FD、SD活動に関する大学としての指針について明確化した。本年度も本方針に基づき、コンプライアンス研修や事務職員人事研修を継続するとともに、教育研究活動等の運営に関する研修や、外部研修を含めた実効性のある育成型研修も含め、実施していく予定である。

① 実施体制

a 委員会の設置状況（全学FD活動に関するもの）

○大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（添付資料②）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会

（参加状況）学長が副学長の中から指名した者 1名、各学部が選出する者 各 1名、各研究科が選出する者 各 1名、学長が指名する者 若干名

【平成29年度】…平成29年5月2日（第1回）、平成29年6月27日（第2回）、平成29年9月27日（第3回）、平成30年2月21日（第4回）

※平成30年度は平成30年4月27日に第1回委員会を開催。以降、数回の委員会開催を予定している。

c 委員会の審議事項等

- (1) 本学の教育システムに対するファカルティ・ディベロップメントの視点からの分析及び提言、並びに教育効果に関する諸調査の企画、実施及び分析
- (2) ファカルティ・ディベロップメントに関連する学内外の情報収集とその普及等の広報啓発活動
- (3) ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会、研究会その他の企画及び開催
- (4) 「学生による授業評価」の策定及び実施、授業評価結果の分析、並びに授業評価結果報告書の作成及び公表
- (5) 授業評価結果の有効活用その他授業改善に関する取り組みの支援

② 実施状況

a 実施内容

- ・「学生による授業評価アンケート」（報告書の作成等を含む）
- ・「卒業生アンケート」
- ・「大学院修了時アンケート」
- ・FD研究会の開催（全2回）

b 実施方法

- ・「学生による授業評価アンケート」
…全教員1～2科目を対象とし、Web方式で実施。実施後は報告書を作成する。
- ・「卒業生アンケート」、「大学院修了時アンケート」…卒業生及び修了生全員を対象にWeb方式で実施。
- ・FD研究会の開催（全2回）
…本学板橋校舎と東松山校舎とを遠隔会議システムを利用して開催した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・「学生による授業評価アンケート」…平成29年12月4日～23日において、専任・非常勤教員計908名が実施。
- ・「卒業生アンケート」、「大学院修了時アンケート」…平成30年3月5日～3月31日において実施。
- ・FD研究会の開催（全2回）…教員及び事務職員が参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFD活動を担う大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会において、下記の通り、授業改善のための取り組みを行った。

平成12年度より実施している「学生による授業評価アンケート」は、従前（平成28年度まで）のマークシート方式に替えて、平成29年度はWeb方式アンケートを導入実施した。Web方式アンケートの実施については、実施に係る周知が不十分であったこと、学生の回答率が低下したなどの幾つかの課題を残したが、学生の利便性や教員がアンケート結果を即閲覧できることで授業改善に役立てることできるなど、アンケートの可能性を広げた。これらの取り組みは、同委員会が全学的なアンケートの集計結果と報告書を作成し、公表する予定である。

「FD研究会」は全2回開催し、各部局のFD意識と知識の向上に努めた。

「卒業生アンケート」及び「大学院修了時アンケート」の結果については、報告書作成し、学内公開する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成29年度については、上記②において記載済み。平成30年度は、6月25日～7月24日において大学全体のアンケートを実施する予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全学FD委員会の責任において、本学ホームページへの掲載等を含め、必要に応じて行う。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 開設前に一部教員の就任辞退があったが、ほぼ予定通りに設置の趣旨・目的に従った体制・設備で開設することができた。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 毎年度の自己点検・評価活動として、「評価専門委員会報告書」「外部評価委員会報告書」及び「自己点検・評価シート」を年度末（3月頃）に作成し、公表している。</p> <p>b 公表方法 ・大学ホームページ上にて公開。（平成29年度については、平成30年3月末に公開済み。）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 平成28年度に評価機関（公営財団法人大学基準協会）による認証評価を受審し、同協会が定める大学基準に適合しているとの評価を受けた。次回は、2021年度に認証評価を受審する予定である。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表（予定）の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年5月31日)</p>

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

【参考資料】

(平成 28 年 12 月 19 日制定)

大東文化大学FD・SD基本方針

【基本方針】

大学運営が高度化・複雑化していくなか、教育研究活動の質の向上及び教学支援、学生支援、管理運営等の諸課題に対応し大学改革を推進していくためには、教職員の能力開発と資質の向上が欠かせない。

本学は、「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」という大学の理念に沿って教育研究上の目的を達成し、社会の要請に応える大学づくりと大学運営上の諸課題に対応できる教職員を養成するため、FD (ファカルティ・ディベロップメント) 及びSD (スタッフ・ディベロップメント) の活動を積極的に推進する。FDとSDは、企画立案を担うそれぞれの運営主体の方針に基づき、計画性と継続性のある活動として、教職員全体の組織的な機能充実に向け相互補完的に連携をはかりつつ取り組むものとする。

1. 大学は、授業内容及び方法の改善を図り優れた教育システムの提言と構築を実現するため、「学生による授業評価」と授業改善をはじめとする組織的なFD活動を推進する。
2. 各学部・研究科は、各々の教育の特徴を活かした授業改善及び教育の質向上を目指し、FD活動を推進する。
3. 大学は、教学支援、学生支援、管理運営等の各分野において、大学及び高等教育政策に関する知識と理解のもと企画立案から課題解決に至るまで、自らの力で改革を推進することができる教育職員および事務職員を育成するため、SD活動を推進する。
4. 本学の教職員は、教職協働の考え方に基づき、FD活動とSD活動に積極的に参画する。
5. 教育職員は、大学及び各学部・研究科が実施するFD活動に積極的に参画し、自己の能力開発及び教育研究の質向上に努める。また、大学ガバナンス、コンプライアンス、管理運営の観点から、大学が実施するSD活動に積極的に参加する。
6. 事務職員は、大学が実施するSD活動に積極的に参画し、高等教育政策に関する幅広い知識の習得と自己のキャリアに応じた専門性の高度化に努める。
7. 大学のFD活動は、大東文化大学FD委員会が推進する。
8. 各学部・研究科のFD活動は、大学が推進するFD活動との連携をはかりつつ、それぞれの学部研究科において推進する。
9. 事務職員を主な対象としたSD活動は、総務部人事課及び人事委員会が推進する。
10. 教育職員を主な対象としたSD活動は、学長が推進する。
11. SD活動の内コンプライアンスに関する取り組みは、コンプライアンス推進会議が推進する。

【参考資料】

○大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程(平成18年5月15日制定)

改正 平成21年6月15日
平成27年3月18日

平成22年2月22日

(目的)

第1条 この規程は、自己点検・評価全学委員会及び学部・大学院と連携をとりつつ、大東文化大学における教育内容及び技法の質の向上を目指すことを目的とする。この目的達成のため、ファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「FD委員会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 FD委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議検討し、実施することを任務とする。

- (1) 本学の教育システムに対するファカルティ・ディベロップメントの視点からの分析及び提言、並びに教育効果に関する諸調査の企画、実施及び分析
- (2) ファカルティ・ディベロップメントに関連する学内外の情報収集とその普及等の広報啓発活動
- (3) ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会、研究会その他の企画及び開催
- (4) 「学生による授業評価」の策定及び実施、授業評価結果の分析、並びに授業評価結果報告書の作成及び公表
- (5) 授業評価結果の有効活用その他授業改善に関する取り組みの支援
- (6) その他、FD委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 FD委員会は、次の委員をもつて構成する。

- (1) 学長又は学長が副学長の中から指名した者1名
 - (2) 各学部が選出する者 各1名
 - (3) 各研究科が選出する者 各1名
 - (4) 学長が指名する者 若干名
- 2 FD委員会の委員長は、前項第1号に定める者とする。
- 3 FD委員会に副委員長を1名ないし2名置く。副委員長は委員会の同意を得て委員長が指名する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があつた場合は、委員長の職務を代行する。
- 5 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 委員が欠けたときの後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 7 FD委員会は必要に応じて委員以外の者に同委員会への出席及び発言を求めることができる。

(運営)

第4条 委員長はFD委員会を招集し、その議長となる。

- 2 FD委員会は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 3 FD委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(専門部会)

第5条 FD委員会は、第2条の任務を遂行するにあたり、必要に応じて専門部会を設けることができる。

- 2 専門部会には、委員以外の協力委員を置くことができる。

(事務局)

第6条 FD委員会に関する事務は、学務部学務課が担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、学長がこれを行う。

附 則

この規程は、平成18年5月15日から施行する。

附 則(平成21年6月15日)

本規程は、平成21年6月15日から施行する。

附 則(平成22年2月22日)

- 1 この改正規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この改正規程の施行に伴い、大東文化大学学生による授業評価実施委員会規程は、平成22年3月31日をもって廃止する。

附 則(平成27年3月18日)

この規程は、平成27年4月1日より施行する。